

とくしま 農業委員会だより

第120号

令和4年1月1日発行

編集・発行
徳島市農業委員会
徳島市幸町2丁目5番地
TEL 621-5393・5394

新年のごあいさつ

あけましておめでとうございます。皆様方におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。平素は、農業委員会活動に対し、格別のご理解・ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルスが日本国内で初めて確認されてから、ちょうど2年が経ちました。この間、世界的な感染拡大によって、人々の生活や経済活動は大きな打撃を受けました。農業の分野におきましても、農作物の需要落ち込みで価格が下落し、生産者は非常に厳しい状況におかれています。これにより、耕作放棄地のさらなる増加につながるのではないかと危惧しております。



このような状況の中、農業委員会といたしましては、かけがえのない優良な農地を守るべく次世代の担い手へ引き継ぎ、地域農業の振興を図っていくため、行政と共に取り組んでまいりますので、今後ともご支援・ご協力いただきますようお願いいたします。

結びに、本年が皆様にとりまして輝かしい年となりますよう祈念いたしまして、新年の挨拶といたします。



徳島市農業委員会会長
川人 泰博

農業婚活×いちご狩り

農家の独身男性と一般女性との婚活イベントを開催します。新鮮ないちご狩り体験やゲームを通じて交流しませんか？皆様のご参加をお待ちしております！

◆開催日時：令和4年2月6日(日曜日) 13:30~17:00

[受付 13:00 ~、集合場所 徳島市役所東側]

◆当日の流れ：いちご狩り・・・1対1のフリートーク&カップリング

◆参加条件：40歳位までの独身男女

※男性は「徳島市で農業に従事しているか、農家の後継者」

◆募集人員：男女各10名(応募者多数の場合は抽選)

◆参加費：男性 3,000円 女性 1,000円

◆募集締切り：令和4年1月14日(金曜日)(必着)

【問い合わせ先】徳島市農業委員会事務局 (TEL 621-5394)

参加者募集



令和4年度に向けた農業施策等の市長提言

本委員会は、令和3年9月27日、徳島市長に3項目からなる「農業施策等の提言書」を提出しました。

これに対し、令和3年11月15日に市長から回答がありました。その主な内容は次のとおりです。



(1) 都市農業の振興について

【提言要旨】

都市農業は、農産物の供給はもちろん、良好な景観形成や防災空間など多様な役割を担っていることから、その振興に向け平成27年には都市農業基本法が施行され、翌年には施策の方向性を示す国の基本計画が策定されるなど、都市農地の位置づけは大きく転換している。

一方、本市の市街化区域内の農地は、依然として宅地並みの固定資産税や相続税が課せられるなど、営農継続が困難となっている。

基本法では、税制措置や地元消費の推進などの施策を講ずるものとされており、これらの推進には、地方公共団体による地方計画の策定が必要である。

については、市街化区域内の農地保全のため、この地方計画策定を検討されたい。

【回答】

本市の市街化区域でも農業者や関係者の努力により、農地の活用や適切な維持管理がなされており、都市農業に求められている多様な機能が発揮されています。

今後、農業を取り巻く環境が厳しくなる中、都市農業の振興を図るためには、市街化区域内の農地の減少や、担い手の確保などの課題への対応が必要となります。

このため、地方計画の策定については、国が示している方向性を踏まえ、農業者や広く地域住民の意見を伺い、他都市の事例等を調査、研究しながら、本市の実情に即した計画の策定について、関係部局とも連携して検討してまいりたいと考えております。

(2) 耕作放棄地解消への取組みについて

【提言要旨】

農業委員会では耕作放棄地対策として、毎年、農地法に基づく「農地パトロール」を実施し、必要に応じて適正管理指導文書を送付しているが、強制力もなく大半は放置され、解消につながっていない。

一方、市長部局においては本年度、農地中間管理機構との貸借契約を条件とした「耕作放棄地再生支援事業」が実施されているが、借受基準に該当する農地が限定され、利用しにくい事業となっている。

については、拡大する耕作放棄地の解消に向け、次のことについて検討されたい。

- 1 耕作放棄地の再生に対し、より有効な支援策を継続的に実施すること。
- 2 農地法に基づく、「措置命令」や「罰則規定」の適用について検討すること。

【回答】

- 1 耕作放棄地対策については、重要な課題であると認識しております。

本年度から実施している「耕作放棄地再生支援事業」につきましては、制度の周知に努めるとともに、事業の利用拡大に向けては、県及び農地中間管理機構と協議を進めてまいりたいと考えております。

なお、耕作放棄地の課題解決に向けては、まずは土地の所有者が責任をもち対応するべきものであり、耕作放棄地を増やさない対策といたしましては、JA徳島市アグリサポートセンターに管理委託をしている大型草刈り機の活用や、農地中間管理機構を通じた農地の賃貸借が有効であると考えております。

【回答つづき】

【回答】

2 農地法第42条の措置命令は、必要な限度において支障の除去等の措置を命ずるものであって、耕作放棄地を根本的に解消するものではありません。

また、「周辺地域における営農条件に著しい支障が生じ、または生じるおそれがあると認められる場合」の要件については、慎重に判断する必要があると考えております。

今後とも、農業委員や農地利用最適化推進委員のより一層の対応をお願いするとともに、本市におきましても、農業委員会との連携を強化しながら解消に向けて努力していきたいと考えております。

(3) 新型コロナ禍における農産物の販売促進支援について

【提言要旨】

新型コロナウイルス感染症は、発生から1年半以上が経過し、新規感染者数は減少が見られるものの、外食やイベント関連の農産物の需要は大きく落ち込んでいる。

また、これまでのような県外での販促活動が難しい状況にある一方で、リモートワークなど新しい生活様式の定着による家庭内消費の高まりなど、消費行動も変化している。



このような中、他都市では、民間事業者や直売所がネット販売や、ふるさと納税の返礼品を活用して、県外の消費者に直接届ける取り組みを行っている例が見られる。

については、徳島産農産物の販路拡大のため、市としての積極的な情報発信やJA等との連携によるコロナ禍での新たな販売促進の取り組みを推進されたい。

【回答】

本市の農業は、園芸作物を中心に良品質で多品目の農産物を生産し、京阪神地域への生鮮食料供給基地を担う産地を形成しておりますが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、一部品目については、需要や価格に影響があったところです。

今後、ウィズコロナ、アフターコロナの時代における消費嗜好や流通の社会環境が変化する中、徳島産農産物の魅力を伝え、共有していくことが産地振興にとっては重要であります。

今後におきましても、徳島の新鮮で安全・安心な農産物の魅力をPRしていくとともに、事業者等による新たな生活様式に対応した販売促進の取り組み等につきましても、関係機関と協議しながら支援策について検討してまいりたいと考えております。

農業者年金で老後の生活を安心サポート!

● 農業者の方なら広く加入できます

加入要件

①60歳未満の人 ②年間60日以上農業に従事 ③国民年金第1号被保険者に該当する人

● 保険料額は自由に決められます

通常加入の場合 月額2万円から6万7千円まで千円単位で変更可能

35歳未満で認定農業者に該当しない等一定の要件を満たす方は、1万円からでも加入できます

● 終身年金で80歳までの保証付きです

● 税制面で優遇措置があります

支払った保険料は、全額が社会保険料控除の対象

● 農業の担い手には、政策支援（保険料の国庫補助）があります

一定の要件を満たす農業の担い手に対して、保険料の国庫補助が設けられています

農業者年金のお問い合わせは、徳島市農業委員会事務局（TEL 621-5394）まで。



詳しくは…



令和3年度 農業と農村の図画コンクール

テーマ 田・畑ではたらく人

徳島市農業委員会では、子どもたちが農業と農村に対して理解と関心を深めるとともに、自然に満ちた健康的な生活の大切さを実感し、人間形成に役立てるための取り組みとして、図画コンクールを開催しています。

作品展示・表彰式の様子や多数の応募作品の中から特選、準特選に選ばれた作品を御紹介します。



応募作品展示

令和3年度「農業と農村の図画コンクール」に応募された徳島市内の小学校4年生から6年生が描いた全作品77点を11月17日から24日まで、ふれあい健康館1階きっかけ空間に展示しました。

期間中は、個性あふれる数々の作品を多くの市民の方に観賞していただきました。



入賞者表彰式

また、11月23日には、ふれあい健康館1階きっかけ空間にて、入賞者の表彰式が行われました。入賞者には、川人会長から表彰状と副賞として、徳島市の農産物が贈呈され、会場から大きな拍手が送られました。

特選(市長賞)

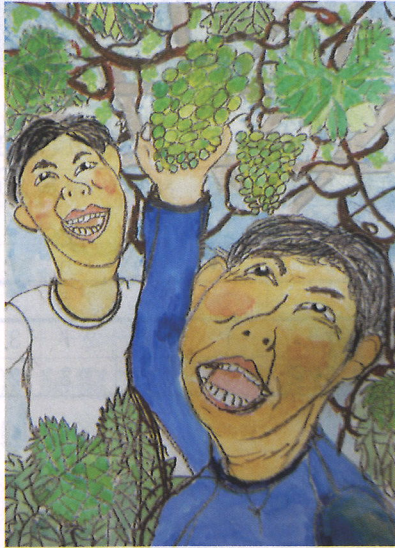
「おじいちゃんとなすび」

千松小学校 6年 竹田心結さん

みずみずしいなすびを丁寧に収穫するおじいちゃんの写真から、大切に育てたなすびへの愛情が感じられます。中心となる人物やつややかななすびを、クレパスで色を塗り重ねて細部まで描き、さらにその後引っ搔いて質感を出す等、表現方法もよく工夫されている力作です。おいしいなすびを家族みんなで食べる様子も想像される心温まる作品です。

講評：審査員





「おじいちゃんのマスカット」

千松小学校 5年 高橋大輝さん

準特選(教育長賞)

収穫の喜びに溢れた二人の笑顔がとても印象的な作品です。枝もたわわに実ったマスカットの色も丁寧に葉の色と塗り分けられていて、甘くてさわやかな味が想像されます。描かれている二人は作者とおじいちゃんでしょうか。紅潮した頬からは、働く喜びや家族の絆も感じられ、楽しくお喋りしながら作業する声が聞こえてきそうな生き生きとした作品です。講評：審査員



「レンコンをほる父」

川内北小学校 4年 岡本優希さん

準特選(JA組合長賞)

大きく立派に育ったレンコンを力強く水の中から収穫する喜びがしっかりと表現されています。レンコンの一つ一つに光が当たって色が違って見えたり、泥がついたりしているところまで、丁寧に着色することができています。蓮の葉の大きさや、花のやわらかく鮮やかな色もよく伝わるように表現できていると感じました。講評：審査員



「今が旬のできたてオクラ」

千松小学校 6年 森由依奈さん

準特選(農業委員会会長賞)

陽の光がふりそそぐ中で大きく実ったオクラを収穫する様子を、細部までこだわって表現しています。人物の表情や手の動きから、心をこめて栽培したオクラを大切に扱おうとする気持ちと、収穫の喜びが伝わってきます。これから大きくなりそうな実や、今にも咲きそうな花のつぼみがあることで、オクラの成長も感じられます。講評：審査員

★ 入選されたみなさん ★

入 選		
助任小学校	6年	佐々木祐佳さん
千松小学校	6年	地紙 妃菜さん
川内北小学校	6年	谷木 優月さん
助任小学校	5年	山口 慧さん
渋野小学校	5年	秦野 拓海さん
大松小学校	4年	小川 颯斗さん
大松小学校	4年	西尾 彩音さん
北井上小学校	4年	長谷部友侑さん

★ おめでとうございます ★



LED照明で作業場を明るく快適に!

1 年をとると見えにくくなる?

作業場がどうも暗いと感じることはありませんか？
視力は年齢とともに減退し、(一社)照明学会の資料によると20歳視力1.0を基準とした必要照度の倍率は、60歳で2.5倍、70歳で3.8倍となっています(表)。
年をとると照明が暗く感じ、作業効率がかなり低下していることが考えられます。

表 20歳を基準とした必要照度の倍率

視力/年齢	20	40	60	70
0.6	1	1.4	1.8	2.1
0.8	1	1.2	1.6	1.8
1.0	1	1.4	2.5	3.8
1.2	1	1.5	2.7	3.5
1.5	1	1.6	2.3	2.9

2 明るさの目安は1000ルクス

作業場はこれくらいの明るさが必要です

1500ルクス

検査 選別 設計 製図

700ルクス

検査 選別 包装 包装のみ

300ルクス

包装 荷造り

150ルクス

農作物の出荷選別作業は500~1000ルクス必要

※中高年は20歳の人の1.5倍の明るさが必要

理想は1000ルクス以上



明るさは照度計で測定します

3 農作業場に適したLED照明とは

農作物は色の判別が大切なので演色性の高いLED照明が適しています。
LED照明の場合、演色性はRa〇〇と表示されている場合が多いので注意してよく見てください。
演色性はRa90以上の高演色製品が理想的です。外で収穫したイメージで出荷調整作業を行うことができます。



LED電球の表示例

4 日亜化学との連携で高演色LED照明を商品化

徳島農業支援センターと日亜化学工業が連携し、日亜製の高演色LEDチップ(Ra90)を使用した農作業に最適なLED照明を商品化しています。
40w直管蛍光灯と同じサイズで、既存の蛍光灯器具に内部配線の変更で取り付けが可能となっています。
導入価格は1本約4,500円(税別・工事費別)と安価です。
明るさは3,000ルーメンあり蛍光灯から取り替えると、かなり明るく感じると思います。
販売はJA徳島市や徳島市内の企業で行っています。
なお、農業支援センターには照度計があり、作業場の照明改善についてのアドバイスも行っていますのでお気軽にお問い合わせください。

記事提供・お問い合わせ先

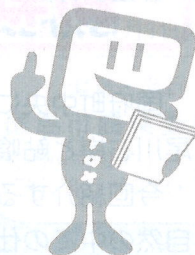
●徳島県徳島農業支援センター TEL 088-626-8771 FAX 088-626-8739
〒770-0855 徳島市新蔵町1丁目67番地 徳島合同庁舎(新館2階)

贈与税の申告をお忘れなく

令和3年中に、生前一括贈与の農地法第3条許可を受けた方で、納税猶予を希望する方は、農業委員会で「贈与税の納税猶予に関する適格者証明書」の交付を受け、**2月1日(火)から3月15日(火)**までの間に税務署に申告書を提出してください。

なお、申告書の作成に当たり相談を希望される方は、お早めに徳島税務署資産課税部門までご連絡ください。

【問い合わせ先】徳島市農業委員会事務局 (TEL 621-5393)
徳島税務署 (TEL 622-4131)



相続などによって農地の権利を取得したときは農業委員会への届け出が必要です



届出書は徳島市農業委員会のHPでダウンロードできる他、窓口でもご用意しております。

届出書と合わせて、所有権を取得したことを証する資料として、権利登記後の登記簿謄本の写し、又は登記識別情報通知の写しを提出してください。
※賃借権を相続した方は、別途届出に必要な書類がありますので、農業委員会までご相談ください。

【問い合わせ先】徳島市農業委員会事務局 (TEL 621-5393)

青色申告はお得です

主なメリット

- 所得から最高65万円又は10万円の控除ができ、所得税と住民税が軽減されます。
なお、令和2年分の所得税確定申告から、65万円の青色申告特別控除の適用要件が変更となっていますのでご注意ください。

【問い合わせ先】徳島税務署 (TEL 622-4131)

- 農業経営収入保険は農業者ごとの収入減少を総合的に補填するセーフティネットとして自然災害や価格低下だけでなく農業者の経営努力では避けられない収入減少が補償の対象です。
青色申告で農産物を栽培販売していることが加入要件ですが、青色申告でない農業者の方も青色申告へ切り換えることで、実績が1年あれば加入することができます。青色申告には特別控除や、純損失を3年にわたって全額繰り越せる優遇措置もあります。また、従来の農業共済(水稲・家畜・果樹・園芸施設(ハウス)共済)も制度が見直され公的保険制度として農業経営をサポートします。

【問い合わせ先】徳島県農業共済組合 (TEL 622-7731)



- 農業者年金制度では、認定農業者で青色申告をしている等の一定の要件を満たせば、保険料の国庫補助(月額最高1万円)を受けられる仕組みがあります。

【問い合わせ先】徳島市農業委員会事務局 (TEL 621-5394)

簿記講習会を開催

徳島市では、青色申告のための農業簿記講習会を、徳島農業支援センターと連携して毎年開催しています。令和3年度は7月から3月まで月1回徳島合同庁舎で開催しております。

【問い合わせ先】徳島市農林水産課 (TEL 621-5246)

新戦力紹介! ~若さを武器にITにも挑戦~

国府町中央に位置する南井上地区（花園）は、飯尾川右岸と鮎喰川左岸の平地農村です。

今回紹介する藁手宏紀さん（42歳）は、もともと自然の中での仕事に興味があり、転職を考えていたところ、新規就農給付金の制度を知り、家族と相談して就農することにしました。

妻の実家で、7aのハウス（トマト、キュウリ）と1haほどの農地で露地野菜（カリフラワー、ブロッコリー）を栽培しています。始めたばかりの頃は、失敗も多かったけれど、両親の教えや妻の支えもあり、最近では消費者の方からおいしいと言ってもらえるようになりました。

趣味は釣りです。前職の飲食業の経験を生かし魚料理を家族に振舞うのが楽しみです。

今後の目標は、施設園芸と露地栽培をバランスよく目標を立てて、情報通信などの先端技術を活用することで、作業の省力化や生産物の高品質化を実現する「スマート農業」を勉強していきたいそうです。



南井上地区 推進委員
多田 孝



全国農業新聞を購読しませんか!

全国農業新聞は、経営や暮らしに役立つ情報がいっぱいの農業総合専門紙です。「週刊」新聞の特色を生かし、情報をわかりやすく解説的にまとめています。

さらに、全国47都道府県に支局があり、地域の話やイベント情報なども掲載しています。

- ◆発行日 毎週金曜日(月4回)
- ◆発行所 全国農業会議所
- ◆購読料 1か月700円(税込み)

購読のお申し込みは
徳島市農業委員会事務局
(TEL 621-5394)まで